



わかしょう

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

6年生を送る会

2月21日(金)に6年生を送る会が開かれました。1年生から5年生が心を込めて6年生に感謝を伝えることができました。前半は縦割り班ごとにゲームをしました。5年生を中心に楽しいゲームを考えて、6年生と笑顔で活動することができました。ゲームが終わると、1年生から5年生が作った感謝のメダルと色紙が渡されました。6年生が微笑みながら下級生のメッセージを読んでいる姿が印象的でした。

後半は、全校児童が体育館に集まって楽しいクイズをしました。とても盛り上がりました。先生方も登場したり思い出の写真を見たりと、たくさんの笑顔の中で会が進みました。思い出のスライドショーは6年生が1年生の時から振り返りをしました。なつかしい写真ばかりでした。

いよいよ送る会の終わりの時間が近づくと、目に涙を浮かべている下級生が何人かいました。「6年生とさよならするのがさみしい。」と2年生の女の子が話していました。「〇〇ちゃんにやさしくしてもらった。」と話す1年生もいました。

現在6年生は、卒業式の練習に取り組んでいます。小学校生活の思い出を胸に、92名全員で最高の卒業式を創っていきましょう。



5年生社会科「農業について考える」授業



5年生「農業」について考える

本校の卒業生の「米倉弦希」さんが、5年生に農業について授業を行いました。5年生には、事前に農業についての仕事内容や自分が農業に対して思っていることについてアンケートを取りました。そのことも踏まえて、米倉さんが今取り組んでいる農業や農業についての思いを話してもらいま

した。農業を仕事にするという思いはなかったところ、おじいちゃんとの悲しい別れを通して意識が目覚めたそうです。有機栽培や食品ロスなど、現代的な課題に向き合い仕事に取り組んでいる様子が分かりました。最後に子供たちに夢に向かって努力することの大切さを話していただきました。

校舎建築の様子



琴の体験教室

4年生が「琴」を体験を行いました。講師は元小学校教諭 安達映美先生。すてきな音色を出すことができました。



琴の体験教室

「人間は馬鹿だ。」と先生が言った。そう訴えてきた3年生の男の子。話を聞いていくうちに、先生の発言は道徳の時間での一コマ。「道徳の時間は好きなの？」との質問には「嫌い」の一言。なぜかと理由を聞くと、「悪いことをした人の気持ちを考えるのが嫌だ。」とのこと。なるほど。それも一理あるのか？人が生きていく上で感情はつきもの。「喜怒哀楽」という言葉があるように、喜びや怒りや悲しみや楽しさの中で生きている。楽しいことばかりではない。時には苦しいこと辛いこともある。悪いことをしてしまうかも。でもそこから逃げてばかりでは前に向けないこともある。子供たちと一緒に考える道徳の時間について、再考するきっかけとなった。

どうやらおかあさんが「ぎっくり腰」の模様。1年生の男の子が「お母さんが大変なことになっている。」と報告してくれました。家事はできなく、ご飯を食べるのも一苦労しているよう。次の日も次の日も「ママ元気になった？」と聞くと、なかなか改善しない様子。腰の痛みの経験がありますが、それは辛いことです。きっと痛々しいママの様子が頭から離れなかったのでしょう。早く良くなることを願います。

登校時におかあさんと別れるのがつらいと訴える女の子がいました。お母さんと玄関前まで来るのですが、なかなか離れることができずにいます。「最後に一度ギュっとして。」とお母さんに抱きしめてもらいさよならをします。教室に入ってしまうと何となく、笑顔で友達と元気良く過ごしています。落ち着いたときに話をしようと思っていたところ、昼休みに廊下で出会いました。それとなく聞いて見ました。「朝泣いているけど何か困ったことあるの？」すると自分のことではなくママのことが心配だと言いはじめました。「お仕事に行ってるけど、周りの人が休んだりして大変なの。ママがかわいそう。」とのこと。きっと家庭の話の中で思わず口にしてしまったママの一言があったのでしょう。仕事に行くママを気遣っている様子でした。ママ頑張って仕事してるから大丈夫だよ。お友達とお勉強頑張りなうね。しばらくすると教室で笑顔が見られました。

